

令和元年度第25回「歩く会」について ～企画からゴールまで～

特別活動部長 齋藤 匡

1 はじめに

本校では特別活動の行事として、蒼星祭（文化祭：校内発表）→蒼星祭（文化祭：一般公開）→歩く会・芸術鑑賞会と3年毎のローテーションで実施している。私は教員生活31年、本校赴任2年目で、歩く会は自身の高校時代も含めて初めての経験である。

特活部の担当になり歩く会の企画をしなければならなかった時には、恩田陸氏の『真夜中のピクニック』を思い出し、ものすごい高揚感と言ひ知れぬ不安感が入り交じった複雑な心境だった。その後、日中に実施と知り気分は概ね落ち着きを取り戻した。

令和元年度の歩く会は5月31日（金）実施予定で、クリアしなければならないことは数々あり、新年度が始まってすぐ準備に取りかかった。前任者の川松教諭が、特活副部長として経験談を交えて的確なアドバイスをしてくれた事は幸いだった。

2 コース

本校は創立30年であるのに実施回数は25回であることからわかるように、以前は歩く会を毎年実施していた時期があり、3通りのコースがあったようである。生徒は在学中毎年違うコースを歩く体験を得、思い出にも残るし素晴らしいことではあるが、毎年実施していた頃の担当者の大変さは容易に想像がつく。

現在実施しているのは、その時期に実施していたコースのうちの1つで、中央高校を発着とする「愛宕山コース」、本校から愛宕山までの往復約21kmである。

3 準備

①参加承諾書

4月17日付けで起案をとり生徒に配布、5月8日を締め切りとした。

実施日・コース等の概要を掲載し、A4用紙の下部1/3を切り取って提出するタイプの参加承諾書にした。

②実施要項作成

目的・コース・日程・歩行方法等を記載。

③教員配置

生徒とともに歩行・チェックポイント（往復18カ所）・監視車（4台）の3つに分類し配置することにした。生徒に何かあったときに対応できるように近くにいて、その教員が孤立しないよう留意して配置した。

④工事予定の確認

小美玉市役所と笠間市役所の管理課に出向き道路工事予定の問い合わせをしたところ、すぐに確認していただき工事予定がないことが判明した。コース変更する必要がなくなり一安心し作業を進めていたところ、数日して観光課から「コース確認し異常ありませんでした」と連絡をいただいた。実際に予定コースを見て危険箇所の確認をしていただいたようである。きめ細やかな行政サービスとはこういうことかと認識を新たにした。

⑤トイレ休憩場所の確保

片道約10km2時間半の行程、最低でも1カ所はトイレ休憩場所が必要だ。毎回笠間市立岩間第三小学校さんの体育館と外のトイレを利用させていただいている。今回も利用させていただこうと、本校校長と私の二人で岩間三小にお願いに伺った。トイレ確保ができなければ、企画自体成立しなくなってしまうぐらいの大きな問題である。いささか緊張しながらの訪問であったが、快く利用を許可してくださった。

前日、本部車両にトイレットペーパーとトイレ清掃用具を積み込み準備完了。

⑥歩く会旗作成

先頭と最後尾を生徒会役員が歩く事になっている。先頭に立つ生徒会役員3名が、交代しながら歩く会旗を持って歩いた。歩く会旗は毎回生徒会役員が新たに作っている。デザインを考え絵を描き、布の端を三つ折りにして端ミシンをかけ、竹竿にさせるように袋状に縫って完成。そうして作成した歴代の旗が生徒会室に何枚も残されている。

⑦道路使用許可申請

「道路使用許可申請書」は茨城県警察のホームページ上からダウンロードできた。が、申請書に添付する書類の説明がない。3年前の書類を参考に「実施計画」「職員分担表」「職員監視ポイント」「道路地図」を作成し添付した。小美玉市を出発し、石岡市の一部を通り抜け笠間市で折り返しとなるコースである。警察の管轄が石岡と笠間警察署の二カ所に跨がるので、二カ所とも提出しなければならないかと思い問い合わせたところ、一カ所で事足りるとのことであった。

4 当日

令和元年5月31日（金）天候曇り、出発時の気温約20度。日頃の行いが良いのは1人や2人ではないはずだと思えるぐらいの良いコンディション。8時40分に集合点呼、9時過ぎに出発。歩行ルールはクラス毎の2列歩行、クラスには引率教員が付き、その前後を体育委員が歩き安全歩行に努める。クラスの間隔は約20メートルとし、クラス内では女子が前で男子が後ろを歩くことにした。速度は1kmを約15分目安（時速4km程度）としてある。長年実施してきた経験から得られたことは重要で、よほどの体調不良や体力差がない限り脱落しにくい仕組みになっている。

生徒会役員が歩く会旗を持ち、先頭でスタート。不安げな表情だったり嫌そうな態度で歩き始める生徒も見受けられたが、中には出発時からテンションが高く、散歩や農作業中の方に大声で挨拶している生徒も少なくなかった。

スタートの中央高校から、途中休憩地点の岩間第三小学校を過ぎ、愛宕山の麓の五霊池まではほぼ平坦な道のりで、常磐線跨線橋だけが唯一の高低差だった。愛宕山も標高306mなのでそんなに大変ではないだろうと高を括っていた生徒も多かったらと思う。五霊池手前を旧道に入り、修験者が通る参道ではなくドライブコースへ進んだ。参道よりも斜度は緩やかなのだが、日光いろは坂ほどではないにしろ急カーブが多く何度曲がっても上が見えない。曲がるときに「まだ着かないの？」と声が聞こえてきた。先頭集団の男子の中には「走った方が楽なんじゃねえ」と走り出した生徒もいた。この生徒は残りのカーブ4つ分を走りきり愛宕山天狗の森広場に到着したが、多くの生徒はかなりきつい思いをしたように見えた。

天狗の森広場到着を12時20分と予定していたが、ややペースが速くなり先頭集団が11時50分頃に到着した。ここで昼食を取りながら50分休憩し、その後帰校する。到着が早まった分、出発予定を10分繰り上げ13時05分にした。帰りは下りだから楽だろうと思って

いたが、しばらくして下りのツラさに気がついた。大腿四頭筋と腰に負担がかかっているのがわかった。運動部の生徒たちはともかく、日頃運動していない生徒たちは同じ感覚を味わっているに違いないと思いながら歩いた。歩く会は一人ではない。開会式で校長が「長い道のりを友達と語らいながら歩いてもらいたい」と話したとおり生徒たちは下り坂でも楽しそうに話しながら歩いていた。教員の周囲には生徒たちしかいないが、生徒たちには友達がいたのだった。友達は存在するだけでも力になると感じた。

14時10分頃、先頭の3年1組が岩間第三小学校に到着。ここからはクラス毎の歩行ではなく自由歩行に移行した。さっさと一人で歩き始める生徒もいれば、後から来る友達を待つ生徒もいる。生徒たちの交友関係が見えて興味深かった。

残り約5km。『先が見えたからさっさとゴールしてしまおう』というタイプの生徒たちはスピードアップしていく。『疲れた～。急いでも急がなくても歩く距離は同じ～』というタイプの生徒はスピードダウンし友人との会話重視になっていった。

計画していた段階では16時20分～17時までに全員ゴールするだろうと考えていたが、早いグループは予定より30分程度早く15時50分にはゴールし最終チェックを済ませた。会話重視のグループは予定より20分程度遅く最後は17時20分頃に到着した。

5 終えて

校外での行事は何かと気を遣う。周辺への迷惑行為があったらとか、生徒が事故を起こしたり事故に巻き込まれてしまった時はとか、様々な想定をしなければならない。その対処をある程度まで考えなくてはならないので、気を遣うことは多いし企画段階で解決しなければならない事が多く、校内行事に比べとても面倒ではある。

「歩く会」は順位がつかず、賞品も賞状も出ず、ただ歩いてゴールするだけの行事である。それでも生徒たちはこの3年に1度の行事を、クラスマッチや文化祭とは違った心持ちで楽しむことができている。この行事は、本校の生徒にとって過去30年の卒業生と同じ体験をするイニシエーションなのだ。この行事を楽しめる生徒を誇らしいと感じ、同時にこのイニシエーションに参加できる生徒をうらやましいと感じた。

恩田陸氏は登場人物に「何かの終わりはいつだって何かの始まりなのだ」と語らせた。幾多の卒業生と同じ経験をしながらもそれぞれの道を歩んでいく生徒にとって、何かを遂行し次の目標を見つける作業はとても大事なことになるのだ。準備は面倒でもそれ以上の収穫がある企画であった。



(資料)

令和元年度 第25回歩く会実施計画

- 【目的】 1 長距離を完歩することで、精神力と忍耐力を養う。
2 仲間と行動を共にし、達成感と一体感を味わう。
3 集団行動をすることで自己の役割を認識し、規範・規則の重要性を学習する。

【期 日】 令和元年5月31日(金) 荒天時は6月7日(金)に延期

【コース】 総距離 約21.0km

中央高校 → 石岡市：東成井 → 笠間市：福島→国道355号バイパス
→ 笠間市：岩間消防署 → 笠間市：岩間第三小学校 → 県道43号 → 五霊
→ 老人福祉センター → 愛宕山：天狗の森広場(昼食) → 老人福祉センター
→ 五霊 → 県道43号 → 笠間市岩間第三小学校 → 笠間市：岩間消防署
→ 国道355号バイパス → 笠間市：福島 → 石岡市：東成井 → 中央高校

【参加者】 1年 200名, 2年 193名, 3年 194名 生徒合計 587名
職員 41名

【集 合】 中央高校グラウンド

【解 散】 中央高校 健康状態を確認のうえHR毎に解散

【服 装】 体育時の服装を着用のこと(天候により各自調整すること)

【携帯品】 昼食, 雨具, 飲料水(荷物は最小限とし, リュックなど背負えるものを用意する)
※携帯・ヘッドホンステレオ等は禁止

【歩行方法】 クラス単位での2列縦列歩行とする。(女子が前, 男子が後ろ)
狭い道路や交通量の多い道路では1列縦隊とする。
出発順は3学年→1学年→2学年。
復路の岩間第三小学校より自由歩行とする。
速度は1km約15分を目安とする。(総時間 約5時間25分)
クラス間は概ね20メートルとする。
クラス単位に引率教員1名, クラス体育委員2名がつき安全確認を徹底する。

【チェック地点】 午前：笠間市：岩間第三小学校 (トイレ可)：健康状態・通過チェック
昼：笠間市：天狗の森広場 (トイレ可)：健康状態チェック
午後：笠間市：岩間第三小学校 (トイレ可)：健康状態、通過、最終チェック

【休憩地点】天狗の森広場（昼食）・・・・・・約50分

【救 護 係】歩行困難者が出たときには、各クラス担当の引率教員より救護車に連絡する。

【監 視 係】監視係は監視車で生徒の歩行状態、交通などの整理にあたる。

【撤 収 係】最後尾に位置し、ゴミ等の撤収にあたる。

【生徒会役員】先導3名、後尾撤収4名

【歩行日程】

☆ 往路

中央高校集合 : 8時40分 集合点呼、クラス引率教員→学年主任→本部（特活部長）

諸 注 意 : 8時45分～8時55分 校長先生・特活部長から

中央高校出発 : 9時00分 3年5組からクラス毎に出発、最後尾は2年5組（別紙参照）

しまむら : 9時27分 道路横断（ポイントA2）

本多医院先の355号バイパス : 10時27分 道路横断（ポイントA4）

笠間市岩間第三小学校 : 11時00分 トイレ休憩10分・健康チェック

さんてす交差点 : 11時20分 道路横断（ポイントA7・A8）

老人福祉センター : 11時50分（ポイントA9）

天狗の森広場 : 12時20分～13時10分 昼食50分 引率教員の指示に従って行動
☆ゴミは各自持ち帰る

☆ 復路

天狗の森広場 : 13時15分 出発

さんてす交差点 : 14時00分 道路横断（ポイントB2・B3）

笠間市立岩間第三小学校 : 14時15分 トイレ休憩10分・健康状態チェック

☆ ここから自由歩行

イトキン → 本多医院前 → しまむら → 中央高校 16時20分
昇降口で最終チェック・チェックを済ませた後教室に入り、HR毎に解散

*HRは、復路を引率したクラスの教員がおこなう。

R1 歩く会 ポイント写真



ここを右折



< A3 > 櫻井・長谷川・仲澤 < B8 > 仲澤



< 本田内科 > ここを左折



< A4 > R355号に出る所：ここを右折
 広戸・関根・高野



< A5・6 > 小林・太田・鈴木菜・市毛・鈴木美・
 塚本「イトキン」 < B4 >



<岩間第三小を過ぎて最初の信号を左折>



<A7>さんてす 櫻井・長谷川・仲澤<B3>



<A8>セブンイレブンの所 広戸・関根・高野<B2>櫻井・長谷川



<A9>老人福祉センター 小林・太田・鈴木菜



<天狗の森広場>ゴール